

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-120	A-152	14-154
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門		
題名 (原題/訳)		
Multivariate analysis of binge drinking in young adult population: Data analysis of the 2007 Survey of Lifestyle, Attitude and Nutrition in Ireland. 若年成人の過飲に関する多変量解析：2007年アイルランド生活習慣・意識・栄養調査		
執筆者		
Mohamed S, Ajmal M.		
掲載誌		
Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Feb 23. doi: 10.1111/pcn.12284.		
キーワード		PMID
過飲、うつ、不安、生活習慣、若年成人		25707290
要 旨		
<p>目的： 若年成人における過飲とうつや不安・QOL・栄養摂取との関連を明らかにする。</p> <p>方法： 2007年 SLÁN (Survey of Lifestyle, Attitude and Nutrition, アイルランド生活習慣・意識・栄養調査) の調査対象者 10,364 人のうち、18 歳から 29 歳の若年成人 2,590 人を対象に、うつ、不安、QOL および栄養における過飲への影響を検討した。飲酒のアセスメントには AUDIT-C を、うつと不安には WHO の CIDI-SF 簡略版を、QOL には WHO-QOL を用いた調査を行い、過飲に対する多変量解析を実施した。潜在的交絡因子は、年齢、性、社会階層、AUDIT-C スコアとした。</p> <p>結果： 単変量回帰分析では、過飲とうつ (OR=1.8; 95%CI 1.05-3.1; p=0.03)、フライフード摂取 (OR=0.4; 95%CI 0.37-0.59; p<0.001)、QOL の貧弱さ (OR=1.5; 95%CI 1.08-2.3; p=0.01) との間に有意な関連が示された。交絡因子を調整した多変量モデルでは、過飲とフライフード摂取 (OR=0.43; 95%CI 0.3-0.62; p<0.001) および QOL (OR=1.09; 95%CI 1.01-1.18; p=0.01) との間において有意な関連を認めしたが、過飲とうつとの有意な関連は消失した。</p> <p>結論： 過飲は不健康な食事および QOL の貧弱さと関連することが示された。しかし、飲酒と精神保健の関係についての検討は十分でない。危険飲酒に関連するリスクの程度を明らかにするため、さらなる調査が必要である。</p>		